

## 学校評価アンケート(後期) より

1月中旬にご協力いただいた後期の学校評価について「保護者アンケート」「生徒アンケート」の集計結果がまとまりました。前期の結果と比較しながら分析した概要を報告いたします。

○保護者アンケートの質問事項「学校の様子」等については、前期よりは少々数値が下がりましたが、ほぼ9割の保護者の方が「できている」との回答で実現度も高く、学校からの情報はおおむね伝わっていると思われます。

### ○『学校生活について』

保護者アンケートと生徒アンケートの前・後期を比較すると、

- ・保護者「3 子どもは、毎日学校へ行くのを楽しみにしている」

前期 86.9% → 後期 75.7%

生徒は「1 私は、学校が楽しい」前期 92.9% → 後期 91.2%

- ・保護者「4 学校は、子ども一人一人を大切にしている。」

前期 89.5% → 後期 89.2%

生徒「2 先生は、一人一人の生徒を大切にしてくれている。」

前期 87.8% → 後期 85.0%

- ・保護者「9 子どもは学校行事に積極的に参加している。」

前期 97.4% → 後期 94.6%

生徒「7 私は、学校行事に積極的に参加している。」

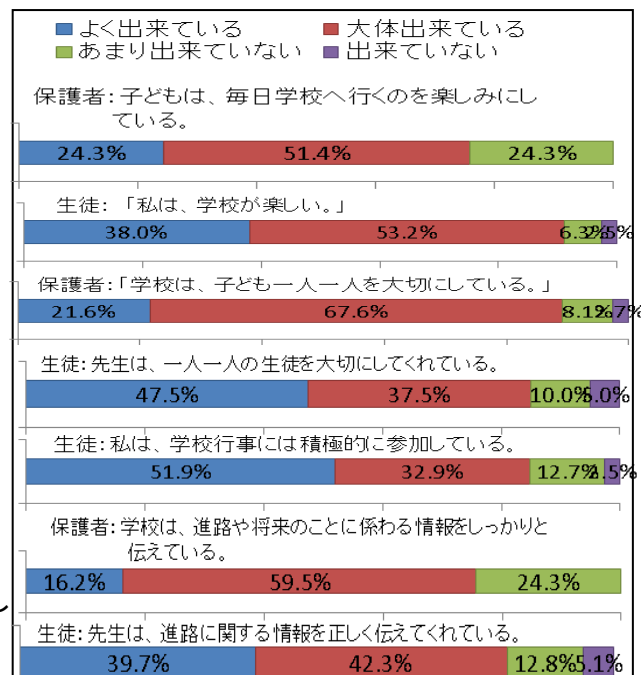
前期 90.3% → 後期 84.8%

子どもたちは積極的に行事等に参加し、学校生活を楽しく過ごしてくれているようですが、保護者アンケートの回答から、朝子どもが登校しずらかったりする場面があることがうかがえます。

教職員は「子ども一人一人を大切に」丁寧に子どもたちと接するように常に心がけていますが、これからも子どもたちの気持ちに寄り添うことを心掛けていきたいと思ひます。

前期の課題であった進路情報に関しては、前期に比較して「よくできている」が増加、生徒 73.1%→82.0% と数値が上がっています。

後期は、3年生が進路選択の時期をむかえたこともあり、進路学活等で子どもたちに自分の将来について考える機会を増やしたり、最新の進路情報を提供したりしたことで、進路に関して子どもたちの理解が深まったと考えます。今後も多様な情報を正しく提供しながら、将来を見据えた生き方を考える機会を増やしていきたいと思ひます。



### ○『豊かな心について』

- ・「人を思いやり、相手の立場を考えて行動している。」

保護者 94.6% 生徒 87.5%

- ・「きまりやルールを守っている。」保護者 97.3% 生徒 89.8%

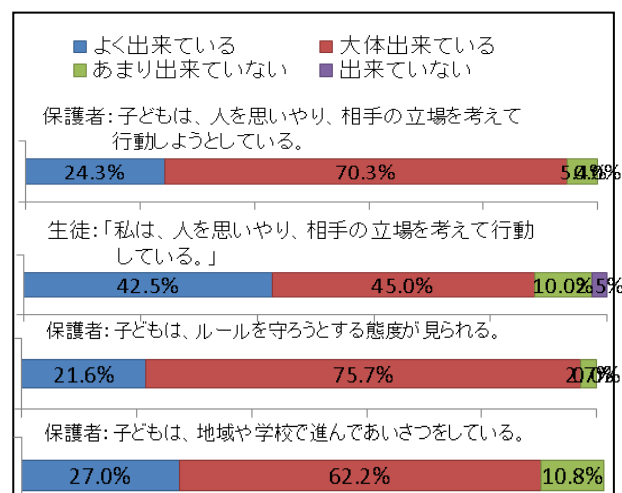
- ・「遅刻をしないように意識して登校している。」

保護者 97.3% 生徒 94.9%

- ・「地域や学校で進んであいさつをしている。」

保護者 89.2% 生徒 92.5%

子どもたちは相手の立場を考えて行動することができ、規範意識も身についています。できていない項目がある子どもは、素直にその内容を自認しているようです。前期に比べると子どもたちに対する保護者の評価は、ほぼ全項目で上がっており、子どもたちが心身ともによりよく成長している証だと思ひます。



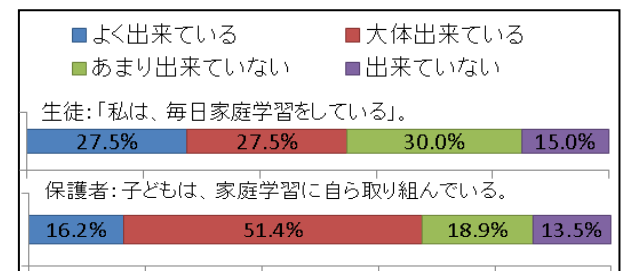
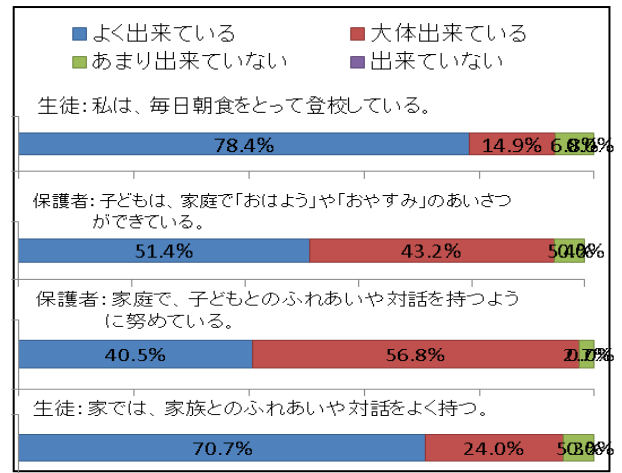
- ・「朝食をとっている」 保護者 97.3% 生徒 93.3%
  - ・「家庭であいさつができています」 保護者 94.6% 生徒 87.6%
  - ・「家族とのふれあいや対話を持つ」 保護者 97.4% 生徒 94.0%
- 前期より数値が上がっており、保護者の方が子どもたちの生活をしっかり支えて子どもたちを温かく見守っていただいていることがよくわかります。

## ○『学習について』

前期の課題であった「家庭学習」に関しては、

- ・保護者「子どもは、家庭学習に自ら取り組んでいる。」  
52.6%→67.6%（よくできている 2.6%→16.2%）
- 生徒「私は、毎日家庭学習をしている。」  
61.0%→55.0%（よくできている 19.5%→27.5%）

主に3年生が自主的に家庭学習をするようになったために数値が上がっていると考えられます。一方、1・2年生で家庭学習をする子としない子の差が、はっきり出てきているようです。学校から出される教科の課題や「積み重ね学習」をきちんとやることはもちろんですが、その日の授業の復習や明日の予習を一定時間やる習慣をつけてほしいものです。また、新聞や本を読む機会を自主的に作っていくことも学力の基本である語彙力をつけるために必要なことと考えています。



## ○『困ったことや悩みの相談について』

- 生徒「先生は困ったことや悩みに相談にのってくれる。」 あまり出来ていない+できていない 26.6%
- 「困ったことや悩みを相談できる友人がいる。」 あまり出来ていない+できていない 17.5%

教職員は一人一人の子どもを大切にしながら丁寧に接するように心がけていますが、困ったことや悩みを先生や友人に相談できずにいる子どもがいることを真剣に受け止めて、さらに子どもの変化や様子に目を配る必要があります。また、教育相談等でゆっくり話をする機会を作って相談のきっかけとしたり、時には、スクールカウンセラーへの相談を促したりすることも大切なことだと考えます。今後も、子どもたちが、自分の悩みや自分を語ることのできる学校づくりを心掛けていきます。

## ○『校内の教育環境について』

- ・校内の教育環境（施設・整備・校内美化）は整備されている。 保護者 73.0% 生徒 58.2%
- 学校施設（グラント`・体育館）の問題と考えています。小学校の施設を利用しているので、中学生にとっては、広さ等で不満があることは理解していますが、なかなか難しい問題です。利用時間や使用方法については小学校と充分に連絡を取り合って、中学校の教育活動に支障のないようにしています。

## 【まとめ】

総合的に考えて、子どもたちは家庭生活・学校生活ともほぼ落ち着いた状態で、安定した生活を送っています。基本的な生活習慣・社会的な生活習慣ともほぼ身につけており、子どもたちお互いを認め合いながら成長しています。前期に課題としてあげられるのが「家庭学習」と「進路」については、子どもたち自身が自分の将来について真剣に考える時期をむかえると、目標達成のため自ら学習に取り組むことができていますが、学力の定着を図るためにも早い時期から学ぶことの大切さを自覚し、継続した自学自習に結びつけられるようにしていきたいと思えます。また、これまで以上に一人一人を大切に、子どもたちの変化を見過ごすことがないように子どもたちに寄り添いながら、子どもに応じた教育活動を実施していきたいと考えています。